

# こもれび

令和4年1月発行

No.48

社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団  
〒252-0223 相模原市中央区松が丘1-23-1 ☎042-750-1905  
ホームページアドレス <http://www.sagamihara-shafuku.or.jp/>

## パラスポーツ体験会を 開催しました

車いすテニス

車いすバスケットボール

皆さんは昨年開催された東京パラリンピックをご覧になりましたか？多くのパラアスリートの活躍と手に汗握るゲーム展開、日本人選手のメダル獲得など、大いに盛り上がりました。

けやき体育館ではパラスポーツの普及啓発と障害の理解促進を目的にこれまでもパラスポーツの体験会を開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除されて以降、車いすバスケットボール、車いすテニス、ポッチャの体験会を開催し、多くの方に参加していただきました。「パラリンピックを見て興味を持った」という方も多く、パラスポーツの広がりを感じることが出来た年になりました。

これからも様々な機会をとらえて、パラスポーツの体験会や大会を開催していきます。皆さんもぜひ体験してください。

ポッチャ





令和  
3年度

# 第24回松が丘園祭 ～銀河の森フェスタ～

今年度は、10月の1か月間を「松が丘園祭月間」として、各種イベントを開催しました。

例年秋に開催している松が丘園祭～銀河の森フェスタ～については、10月を「松が丘園祭月間」として開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自粛モードが高まっている中で取り組むことができる新たな方法として、従来型のイベントのほか、オンラインでも実施できるイベントなどを行いました。

## 【バーチャル見学会及び法人紹介動画】

松が丘園祭の企画として、松が丘園の施設内の各部屋を案内する動画を「バーチャル見学会」として作成しました。案内役として相模原市マスクキャラクター「さがみん」に登場してもらいました。

同時に、法人の事業を紹介する動画を新たに作成し、各事業の内容や活動の様子を写真や映像などで見ていただきました。

※「法人事業紹介動画」は、引き続き法人ホームページにて公開しています。



## 【ホームカミングデー】



年に1回、松が丘園祭の期間中に就労援助センターの登録者の方を対象に実施しているプログラムです。

今年度はオンラインを利用し、障害者支援センター松が丘園に来所して参加する方と自宅等から参加する方をつないで行いました。

昨年度は感染症拡大の影響で実施ができなかったため、久しぶりに顔を合わせた方が多かったですが、オリジナルのマスクデザインの作成や、フリートークでとても盛り上がっていました。

## 【マスクデザインコンテスト】

新型コロナウイルス感染防止で必需品となっているマスクについて、「こんなマスクがあったらいいな」というテーマで10月1日から10月23日の期間で作品を募集しました。コロナが早く収束して欲しい、自分の好きなことを発表したいなど様々な思いがこもった作品、42作品の応募がありました。感想も募集し、「思いのこもった楽しい作品ばかりだった」「それぞれの個性があって楽しかった」などたくさんのご意見が寄せられていました。11月には銀河やけやき体育館で出張展示をしました。



## 【市民向け「Zoom初心者セミナー」】

Zoomの使い方を学ぶ機会として、当日は12名の方がオンラインで参加されました。参加者からは「楽しく学ぶことができた」「今後Zoomを使った研修も参加してみたいです」等の感想をいただきました。



## 【前とちがうけど盛り上がりました!!】

10月22日(金)松が丘園祭として緑日イベントを開催しました。障害者支援センター多機能型事業所の利用者及び職員で出店し、販売やゲームコーナーを開催しました。昨年は、コロナ禍により開催できませんでした。今年は利用者職員のみでの参加となりましたが、「いらっしゃいませー」「ありがとうございましたー」等活気あふれる声が会場内に響き渡りました。出店は、フランクフルト、ミニカレーの模擬店や、日頃の生産活動で作っている自主製品(マスク、シール、タオルで作ったクマ等)を販売し、たくさんの売り上げがありました。また、輪投げコーナーでは、普通の輪投げではなく、利用者が仮装してお客さんを盛り上げ、ソロ目賞等工夫をして、参加者が楽しめるコーナーになりました。

利用者は「今年は園祭ができてよかったねー」「楽しかったねー。来年もできると良いね。」とお祭りの雰囲気を楽しんでいました。



フランクフルト販売風景



練習を終えてみんなでピース

## 【流しっぱなしよさこい】

自立訓練事業の活動メニュー「よさこい・ソーラン節」を動画撮影し、10月18日(月)から5日間、松が丘園1階ロビーに設置したモニターで上映しました。自立訓練事業の利用者は、この動画を視聴してくださる人が楽しんでもらえるように、たくさん練習を重ねてきました。うまく踊れないところは、何度も練習して踊れるようにがんばった人もいます。利用者の思いがたくさん詰まった動画を視聴した方から「かっこよかったです」「元気をもらいました」「楽しそうだった」等、心温まるメッセージをいただきました。

## 【松リンピック】

障害者支援センター多機能型事業所の生活介護事業で、「松リンピック」というオリンピックを楽しむイベントを1週間設定し、開催しました。「カーリング(ボールを使用し中心的の近くをねらい距離を競う競技)」、「紙相撲」、「射的(フーセンの空気でのたおし得点を競う競技)」等を行いました。いずれも白熱する競技となり、参加した利用者は皆メダルを獲得できました。



カーリング

射的

紙相撲

トロフィー

## 【銀河】



フランクフルトおいしいよ

おぼけがいっぱいだ

すてきな作品ができたね

銀河では、「緑日気分を味わおう」「仮装して撮影会をしよう」「コンクールに出品しよう」などの催しで松が丘園祭を楽しみました。笑顔たくさんのイベントになりました。

当法人は、相模原市におけるSDGsの推進のため、令和3年9月にさがみはらSDGsパートナーとしての登録を行い、10月15日にSDGsパートナー登録証盾交付式に出席をいたしました。

その活動の一環として、10月には、当事業団が運営する障害者支援センター松が丘園及び銀河で災害時に備蓄している食料等のうち賞味期限が近いものについて、フードロス削減の観点から、さがみはらSDGsパートナーとして活動されているフードコミュニティ様に提供を行いました。

今後も、このような活動を通じて相模原市内の各団体と更なる連携を深めながら、SDGsの主旨である持続可能な社会を創る取組みを進めていきます。



# SDGs



連載

## 障害者雇用に取り組む 企業インタビュー 第10回

お話：三菱UFJ銀行特例子会社  
三菱UFJビジネスパートナー株式会社

代表取締役社長 坂本英生様

御社の社風について教えてください。

当社は相模原の地に創立して10年半が経つ「エム・ユー・ビジネスパートナー」と、名古屋の地に創立して25年が経つ「エム・ユー・ビジネスエイド」が2020年4月に合併し、同時に「三菱UFJビジネスパートナー」と社名変更しました。

当社の社風は、「社員が主役」ということです。社員が個性にあった業務に就いて、やりがいや社会への貢献を感じることが出来る会社になっていきたいと考えています。例えば、業務内容は親会社の行員と同じです。ではその仕事をどうやって遂行するのか。社員が独自でマニュアルを作成します。それは言うほど簡単なことではありませんが、親会社からの新業務を「どういう行程でやろうか」と社員自身で一生懸命考えるのです。

私も当社に来た時は、社員自身がここまで実施しているとは知らず、今から思うと私自身、アンコンシャスバイアスがあったのだと思いますし、社員一人ひとりと面談を重ねていく中で、社員の事が理解出来たとともにとても誇らしく感じました。

キャリアアップについてどのようにお考えでしょうか。

新しい役職者には、経験を積み重ねた役職者の経験を活かすべく、ジョブコーチ的なやり方を“見える化”すべく取り組んでいます。

我が社の障がいのある社員は「安定して長く働きたい」という社員は勿論、「成長したい」という気持ちを持つ社員も多く、周りが応援したくなる人柄です。キャリアアップについては障がいの有無には関係無く、昇進もあります。なお、これからも時代に即した人事制度の見直しは継続して行っていく予定です。

家族や支援機関に求めることはありますか？

会社と社員との関係は「線」ですが、そこに家族や支援機関が入ることで「面」になり理解が広がると思います。

これから障害者雇用を考える企業へのメッセージをいただけますか？

会社によって仕事の切り出しが難しいかと思えますし、会社の社員数が少ないと、その中の1人を雇う重さは非常に大きいでしょう。ただ先ほども申したように、雇用して「様々な事ができる」ことがわかる事も多いので、まずは一人「雇用してみなはれ」と申し上げたいです。

【相模原障害者就業・生活支援センターの登録者の方々にお聞きました】

・就職してよかったことは精神的に成長できたことです。いろいろな年代の人と関わることができたことも大きな要因です。

(渡部さん・写真の前列左から2番目)

・僕も経験が豊富になりました。年代の違う人、似たような人、違う考え方をもった人に触れ合うことで幅が広がりました。(横山さん・写真の前列右から2番目)



坂本代表取締役社長(後列右から3番目)と当センター登録者の皆様

## 利用者満足度 調査の結果報告

相模原市社会福祉事業団では、利用者の皆様へのサービス向上に向けた取り組みとしてアンケート調査を毎年実施しています。今年度も10項目の質問にご回答いただきました。そのなかから、全体的な満足度に関する設問の結果をご報告いたします。

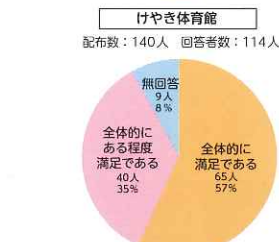
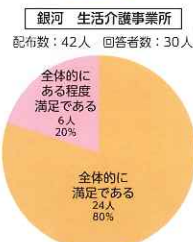
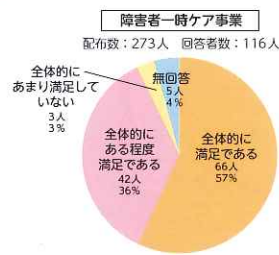
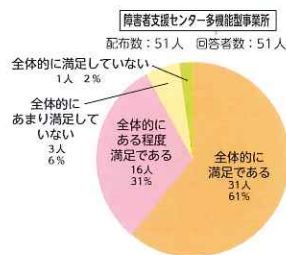
【調査期間】

- 令和3年11月1日～11月30日
  - ・障害者支援センター多機能型事業所
  - ・銀河 生活介護事業所
- 令和3年11月15日～12月15日
  - ・けやき体育館
- 令和3年11月18日～12月17日
  - ・障害者一時ケア事業



アンケートの結果を踏まえ、さらなるサービスの向上に努めてまいります。ご協力ありがとうございました。

### 設問 事業/施設について、全体的な満足度はいかがですか？



## 松が丘園が障害児者を対象とした新型コロナウイルスワクチン集団接種の会場となりました。

一般のワクチン接種会場では接種が難しく、配慮が必要な障害児者を対象として、相模原市が実施した集団接種会場の運営に協力し、9月8日から10月13日の6日間に、のべ524名の方にご利用いただきました。

ご家族や施設の職員からは、「松が丘園に集団接種会場が設けられて、ありがたかった」との声をいただきました。

これからも、皆さんが「今」困っていることを把握し、スピード感を持って対応できるように事業を実施していきます。



寄付御礼 (令和3年7月～12月)

株式会社三菱UFJ銀行様

頂戴いたしましたご寄付は、お気持ちとともに大切に使用させていただきます。ありがとうございました。